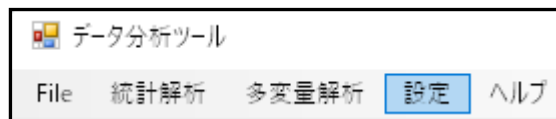


## 計算条件の設定について

計算条件の設定について説明します。

メニューの「設定」を選択します。



以下のパネルが表示されます。



計算結果のログを書き出す条件をログレベルで指定します。

ログは、¥LOG フォルダの下で TraceYYMMDDhhmmss.log のファイル名で出力されます。YYMMDDhhmmss は(西暦年の下2桁)YY、月日 MMDD、時分秒 hhmmss を意味します。

DEBUG : 最も詳細な計算結果を書き出すレベルです。

エラーと思われる状況が発生した場合、このレベルに設定しますと、以降の処理では、詳細な計算過程がログに出力されます。

TRACE : 一般的なレベルです。通常はこのレベルをデフォルトにします。

エラーと思われる状況が発生した場合、エラーログを吐き出します。

ERROR、WARNING、MESSAGE : TRACE より上位のレベルです。が、実質的に TRACE と同じとなっています。

また、収束計算時の収束判定  $\epsilon$ 、反復回数最大を指定することもできます。